

福岡県の近世城郭1 筑前の部

今も市民の心の拠り所として愛され続ける福岡城址。近世におけるその築城には多くの謎が残されています。また、数々の変遷を経て今日の姿に至りました。

本大会では、長く福岡城の研究に従事して来られたお二人に、福岡城の築城とその背景、変遷などについて語っていただきます。

第46回 福岡県地方史研究協議大会

講演

◆「福岡城の歴史と構造」

服部 英雄 氏（九州大学大学院比較社会文化研究院・
比較社会文化学府研究院長、学府長、教授）

福岡城と鴻臚館の場所は同じです。海岸に近いこの山の歴史は古代から継続されています。築城以前に警固神社があったことは、この山が警固所であったことを示唆します。刀伊の入寇で攻撃目標とされたのは警固所でした。文永の役は鳥飼、赤坂にて蒙古軍と日本軍が戦いました。この山をめぐる攻防戦であったことは明らかです。海岸堡としての福岡城の歴史と性格をまず考えます。つぎに福岡城の建物の特色個性を考えてみたいと思います。

◆「時代を生きた福岡城」 -築城から現代まで-

柴多 一雄 氏（長崎大学教授）

黒田長政によって築かれた福岡城は、江戸時代をつうじて福岡藩の最終的な防御施設として、藩主の居所、領内統治の拠点として存続しました。明治維新後は、一時三の丸の屋敷が県庁として使われましたが、ほどなく陸軍用地となり、敗戦まで陸軍が使用していました。戦後は、平和台球場や陸上競技場などの運動施設、国立病院や裁判所などの国の機関、多くの学校、住宅の用地として利用されていましたが、現在は史跡として整備が進められています。このような福岡城は、福岡という都市にとってどのような存在であったのか考えてみたいと思います。

期 日 平成24年 **6月23日(土)** 13:00~16:00 ※受付開始 12:30
会 場 **福岡県立図書館** レクチャールーム（福岡市東区箱崎）
定 員 **160名（要事前申込）** ※申込用紙は裏面です
参加費 **無料**

主催 福岡県教育委員会
共催 福岡県地方史研究連絡協議会（福史連）

〈お問合せ〉 福岡県立図書館 郷土資料課 ☎092(641)1126

地方史研究協議大会 受講申込書

【申込締切】6月8日(金)

(ふりがな) お名前	()	電話	
該当するものを○で囲んでください。 ・福史連加盟団体所属 ・それ以外の団体所属 ()	・個人	FAX	FAXがある方は必ずご記入ください

FAX、郵送又はEメールで受付します。※電話での申込みは、御遠慮ください。

① FAX・郵送：下の受講申込書に必要事項を記入して、FAX又は郵送してください。

FAX：092-641-1127 この面をそのままFAXしてください

郵送：〒812-8651 福岡市東区箱崎1丁目41-12
福岡県立図書館 郷土資料課

② Eメール： 下記のアドレスに必要事項（下の受講申込書の項目）を明記してください。送信の際はタイトルを「地方史大会申込」としてください。

【送信先】kyodo-reference@lib.pref.fukuoka.jp

※申込が定員を超えた場合は、受講をお断りする方のみにご連絡します。

お問い合わせ：福岡県立図書館 郷土資料課 TEL：092-641-1126

個人情報保護のため御記入頂いた内容については責任を持って管理し、当事業以外の目的で使用することはありません。

* 同時開催 *

◆ 6月23日(土)

第7回地方史フェア（福史連主催）

福史連加盟団体のパネル展示と刊行物の販売を行います。（当日のみ）

◆ 6月1日(金)～6月30日(土)

ミニ展示「福史連加盟郷土史研究会の会報」

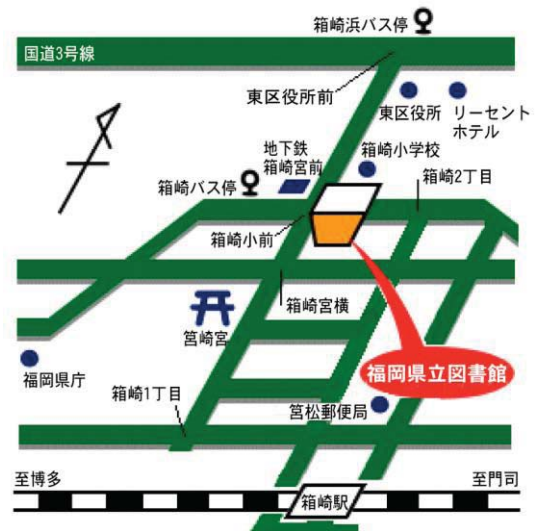
福岡県立図書館3階郷土資料室前にて会報の展示を行います。

お問合せ 福岡県立図書館 郷土資料課

福岡市東区箱崎1丁目41-12

TEL 092-641-1126（直通）

FAX 092-641-1127（代表）



公共交通機関を御利用の上ご来ください

- ・地下鉄「箱崎宮前」駅 徒歩3分
- ・JR九州「箱崎」駅下車徒歩15分